

2021 年度

事 業 報 告 書

2021 年 4 月 1 日から
2022 年 3 月 31 日まで

学校法人 大阪初芝学園

2022年5月26日

学校法人大阪初芝学園

事業報告書

私立学校法第47条に基づく2021年度の本法人の事業報告書は以下のとおりです。

1. 法人の概要

(1) 建学の精神と学園の理念

1937年4月、大阪初芝学園は、大阪初芝商業学校の設立にあたり、校訓を「誠実剛毅」、校則を「剛健なる体力の練磨、勤勉の良風の養成、自治精神の発揮、責任観念の顕現、謙讓の美德の涵養」と定め、学校教育を通して社会に貢献する教育活動の推進に努力しています。

更に、2010年12月、「夢と高い志、挑戦、そして未来創造」を学園の理念と定め、世界で活躍する創造的な人材の育成を目指し、その具現化のため「2023基本構想」を策定し、学園の教育環境と教育活動の一層の充実に努めています。

(2) 学校法人の沿革

- | | | |
|-------|-------|--|
| 1937年 | 1月20日 | 財団法人大阪初芝学園の設立申請。 |
| | 4月30日 | 財団法人大阪初芝学園設立に係る大阪初芝商業学校設立（文部大臣より許可）。 |
| 1948年 | 4月2日 | 学制改革により新制高等学校発足。校名を初芝高等学校（普通科・商業科）とする。 |
| 1951年 | 3月8日 | 財団法人から学校法人に組織変更。 |
| 1953年 | 4月1日 | 初芝高等学校附属幼稚園開園。 |
| 1982年 | 8月31日 | 初芝高等学校附属幼稚園スイミングスクール開校。 |
| 1984年 | 4月1日 | 初芝高等学校富田林分校開校。 |
| 1985年 | 4月1日 | 初芝高等学校富田林分校を初芝富田林高等学校と名称変更。
初芝富田林中学校開校。 |
| 1991年 | 4月1日 | 初芝橋本高等学校開校。 |
| 1995年 | 4月1日 | 初芝橋本中学校開校。 |
| 1998年 | 4月1日 | 初芝中学校開校。 |
| 2001年 | 9月1日 | 初芝中学校を狭山登美丘学舎へ移転。 |
| 2003年 | 4月1日 | はつしば学園小学校開校。 |
| | 9月1日 | 初芝中学校を初芝堺中学校と名称変更。 |
| 2008年 | 7月22日 | 学校法人立命館と教学提携。 |
| 2009年 | 4月1日 | 初芝高等学校を初芝立命館高等学校と名称変更。
初芝堺中学校を初芝立命館中学校と名称変更。
初芝高等学校附属幼稚園をはつしば学園幼稚園と名称変更。 |
| 2011年 | 4月1日 | 初芝立命館高等学校、法人事務局を北野田キャンパス（狭山登美丘学舎）へ移転。 |

(3) 設置する学校、学科等

設置する学校	開校年月	学科等	摘要
初芝立命館高等学校	1937年4月	全日制（普通科、体育科）	
初芝富田林高等学校	1984年4月	全日制（普通科）	
初芝橋本高等学校	1991年4月	全日制（普通科、国際科*1、体育科*2）	
初芝富田林中学校	1985年4月		
初芝橋本中学校	1995年4月		
初芝立命館中学校	1998年4月		
はつしば学園小学校	2003年4月		
はつしば学園幼稚園	1953年4月		

*1 2012年度から募集停止

*2 2014年度から募集停止

(4) 学校、学科等の生徒数等の状況

2021年5月1日現在 単位：人

学校名		入学定員数	収容定員数	現員数	摘要
初芝立命館高等学校	普通科	440	1,320	923	
	体育科	40	120	121	
初芝富田林高等学校	普通科	360	1,080	792	
初芝橋本高等学校	普通科	225	675	429	
初芝立命館中学校		120	360	351	
初芝富田林中学校		120	360	287	
初芝橋本中学校		80	240	56	
はつしば学園小学校		140	840	520	
はつしば学園幼稚園		3歳児 125名 4歳 5歳児若干名	405	342	

(5) 役員の概要

2022年3月31日現在
定員数 理事 7名～17名、監事 2名

	区分	氏名		区分	氏名
1	理事長	森島 朋三	11	理事	加藤 武志
2	学園長	牧川 方昭	12	理事	久野 信之
3	副理事長	川崎 昭治	13	理事	澤田 宗和
4	常務理事	高橋 英幸	14	理事	道上 達也
5	常務理事	宮本 健二	15	理事	山下 洋一
6	常務理事	松本 明子			
7	理事	福永 正博	1	監事	岸田 眞美
8	理事	花上 徳明	2	監事	古林 茂
9	理事	安田 悦司			
10	理事	佐本 一晃			

(6) 評議員の概要

2022年3月31日現在
定員数 評議員 16名～35名

	氏名		氏名		氏名
1	森島 朋三	13	澤田 宗和	25	栗田 直樹
2	牧川 方昭	14	道上 達也	26	小山 久子
3	福永 正博	15	山下 洋一	27	東留 博孝
4	高橋 英幸	16	仲埜 寿樹	28	細野由紀子
5	川崎 昭治	17	辻林 隆昭	29	松本 明子
6	宮本 健二	18	竹谷 知子	30	東野 邦子
7	花上 徳明	19	西依恵一郎	31	指吸 明彦
8	安田 悦司	20	岩橋 徹	32	横澤 広久
9	佐本 一晃	21	城野 靖		
10	加藤 武志	22	高岡 隆真		
11	上野 忠雄	23	山西 登		
12	久野 信之	24	上里 昌輝		

(7) 教職員の概要

2021年5月1日現在

区分		本部	初芝 立命館 中・高校	初芝 富田林 中・高校	初芝 橋本 中・高校	はつしば 学園 小学校	はつしば 学園 幼稚園	計
教員	本務	2	78	60	31	29	20	220
	兼務	—	38	34	25	17	15	129
職員	本務	6	4	3	3	3	1	20
	兼務	5	15	12	15	22	5	74

単位：人

※通年派遣者含む。

2. 事業の概要

本学園は、「夢と高い志、挑戦、そして未来創造」の学園理念のもと、①社会に貢献し世界で活躍する創造的な人材の育成、②生徒・児童・園児の学びと成長を大切にした学園・学校づくり③初等中等教育及び幼児教育を担う「総合学園」として大阪・和歌山の地域に貢献することを目標とする 2023 基本構想・第 2 次中期計画(2017 年～2022 年度)を策定し、目標の具体化を推進してきた。

さらに本計画を推進するため 2018 年には常任理事会の基に「未来夢プロジェクト」を設置、2020 年には「大阪初芝学園未来夢プロジェクト基本方針」を策定した。

2021 年 8 月には学校園スクールが思い描く将来像等を討議、意見交換する場として初めて「大阪初芝学園レビュー」を開催した。また、学園並びに各学校園スクールでは以下の課題に取り組んだ。

(1)学園の取り組み

1.幼小中高及びスクールの連携

- ・学園全体の ICT 力向上のため、ICT 委員会を設置
- ・学園代表者会議の開催（年 2 回）
- ・生徒募集活動における幼小、小中、中高とスイミングスクールの連携

2.立命館との教学提携・連携の強化

- ・定期協議会の開催
- ・立命館からの出向者の受入れ
- ・立命館一貫教育部への出向者の派遣

3.優秀な教員の確保と教職員の力量アップ

- ・教員組織整備計画の策定
- ・新任者研修の実施
- ・教職員合同研修会（新型コロナウイルス感染拡大の為、中止）

4.各校園の学ぶ環境・施設設備の整備

- ・はつしば学園幼稚園の遊戯室の新設/既設園舎の改修
- ・初芝橋本中学校高等学校 ICT 教育設備の整備
- ・初芝橋本中学校高等学校 大規模改修工事へ向けての調査

5.新型コロナウイルス感染症への対応

- ・緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置発令中は大阪府の基準に則り教育活動を実施した。
- ・学級閉鎖や休校措置を取った際、中高ではオンラインを活用して授業を実施、学習機会の継続をはかった。幼稚園では休園期間中も預かり保育を実施し、就労家庭の子供の居場所確保に対応した。
- ・修学旅行をはじめとした宿泊行事については行先の変更、実施時期の変更等行った上で、実施した。また、文化祭や体育祭、授業参観等の行事については、規模の縮小、分散開催等の感染予防措置を取った上で実施した。

(2)各学校園等の取り組み

①初芝立命館中学校・高等学校

重点目標	具体的な取組内容
1. 初芝立命館のブランディング	
(1)地域、保護者、卒業生との連携 の中でのキャリア形成支援	・年2回の教育講演会を実施。 ・卒業生のデータソースの構築の為、アンケート実施
(2)海外大学進学者増加によるグローバル教育推進校としての位置づけ	・海外大学進学説明会を年2回実施 ・中1～高1までの英語キャンプ実施
(3)ICT活用による先進的授業展開	・GroovenautesとのAI/ITプログラミング授業実施(中1・高1) ・土曜講座におけるプログラミング授業実施
(4)新学習指導要領改訂に則した探究型授業実践	・環境教育、法教育、2025万博プログラム、平和、宇宙技術などをテーマに探求授業を実施
2. 他大学進学実績の一層の向上	
(1)アドバンスト英数コースの戦略的学力向上	・各学年のアドバンスト英数コース担任を進路部に充当 ・主要3教科4名をアドバンスト英数コース縦持ちで配置
(2)国公立大学合格実績の向上と中堅大学から関関同立レベルへの受験層の引き上げ	・模試分析会(研修会)/分析報告会を実施 合格実績:国公立22名 関関同立54名 産近甲龍206名
3. 立命館コースの特色化	
(1)学力上位層の伸長、下位層の引き上げ	・数学月例テスト実施 ・英数補強講座実施
(2)理系コースの特色化	・プログラミング講座実施 ・理系特別プログラム実施
(3)中高大との連携プログラム	・ライスボールセミナー実施 ・高大連携事業を実施
4. グローバル人材育成・英語・国際教育の充実	
(1)中高 English Camp	・中1～3 English Immersion Campの実施 ・高1 Global English Campの実施
(2)留学生との交流、海外研修、留学制度整備	・タイからの留学生受け入れ ・中期留学カナダ4か月プログラムに1名参加
(3)オンライン英会話、4技能5領域型授業実施	・中3、高1対象オンライン英会話実施 ・土曜講座内における英会話授業実施
5. 入試においてより高い学力層の安定的確保、中学入試の強化	
(1)学校情報発信強化	・HP更新回数100回/活発な学校情報発信を行った
(2)塾と連携した募集活動強化	・1000件の塾訪問を実施 ・塾対象説明会の実施 ・プレテスト受験者前年比180%
(3)高校アドバンスト英数コース定員確保	・中学校訪問等を通し、アドバンスト英数コースの広報活動を実施 ・専併合わせて前年比173%の出願者

②初芝富田林中学校高等学校

重点目標	具体的な取組内容
1. 授業と特色教育	
(1)授業の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・スタディサプリ・AI アプリなどの有効利用により数学や英語で効果的な進度での授業を実施 ・グローバル特進の教育内容の充実と英語の取り組み強化。総合の時間を英語活動に充当、長期休暇中の英語 PBL 型語学研修を実施
(2)個別最適学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読の実施は徹底できているが冊数管理に工夫が必要 ・ビブリオバトルは高学年ほど質が高く、大阪の大会に出場 ・スタサプ English 中学1年で全国2位の実施状況 ・オンデマンド教材/AI アプリを英数の授業内で有効利用
(3)探究活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・中3クエストでの全国大会発表 ・高2のベネッセの探究発表で準グランプリ・審査員特別賞など活躍
2. 進路指導と実績	
(1)進路方針の明確化	<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学・関関同立・産近甲龍・関東難関私大・医歯薬への合格に向けた取り組みの強化。 <p>合格実績：国公立 63名 関関同立 117名 産近甲龍 185名</p>
(2)進路説明会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・業者による動向と教員が持つ情報を融合した信頼できる情報を基に果敢にチャレンジする意識付けを行った
(3)進対会議と出願検討会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・進対会議・出願検討会ともに生徒一人一人の進路に向けての検討を実施。高3以外の教諭も参加し、丁寧な進路指導と進路指導の継承を図った
3. 向上心と職場環境	
(1)リーダーの育成	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職や主任・分掌長だけでなくミドルリーダーの役割を重視した。やる気のある若手の活躍の場を増やすことが今後の課題
(2)外部研修奨励	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試指導のための予備校などへの研修と授業力向上のための校内研修の強化を行った
4. 生徒募集に関わる課題	
(1)広報の方向性の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル特進探究の位置づけの明確化のためコース設定を再確認し、英語強化を打ち出した
(2)中学・塾訪問等の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・出張説明会を中学入試 11カ所・高校入試 5カ所で実施。 ・天王寺・国分・八尾方面の新規開拓
(3)スクールバス利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスの駐車場を増設（河内国分/光明池等）

③初芝橋本中学校・高等学校

重点目標	具体的な取組内容
1. 教科教育力の強化と進学実績の向上	
(1)新教育スタイル「セルフデザイン」の確立と実践	・年間を6クールに分けて、「進プロ」「スタサタ！」を組織的に計画し、実施
(2)キャリア教育の充実	・高3進学説明会、中1保護者対象説明会、中3内部進学説明会 ・高1・2進学説明会、中3・高1学部系統別説明会の実施 ・「スタサタ！進路講座」の実施（17回）
(3)模試・英検の活用と進学実績の向上	・模試の実施（高1/6回 高2/6(回 高3/9回 ・英検一次試験を校内で実施 ・合格実績：国公立5名 関関同立42名 産近甲龍14名
2. 立命館コースの高大接続の取り組み強化と学力向上	
(1)立命館コースの学力向上	・GTEC高1・高2平均UP(6月→12月)
(2)大学で学び続けるための意識の向上	・高1R講座、高2プログラミング講座の実施 ・高1・2ライスボールセミナーの実施 ・高2APUオンライン交流の実施
3. クラブの競技力向上と全国大会出場	
(1)強化クラブの大会成績向上	・近畿大会出場 5クラブ（サッカー、柔道、硬式テニス、陸上、バスケットボール） ・全国大会出場 3クラブ（サッカー、柔道、硬式テニス）
(2)中学生のクラブ活動の活発化	・毎月の中学探究活動日に「接続クラブ」を実施。 ・中学生の部活動加入率75.0%（前年度63.2%）
4. 特色ある教育（探求型教育・グローバル教育・ICT教育）の強化	
(1)共同的な学びの実践と学年・コースを超えた取り組み	・中1は「英会話」、中2・3はコース別で探求学習を実施。 高1～高3は各学年で探求学習を実施
(2)国際理解・グローバル教育	・希望者対象に「進プロ」「スタサタ！」にてオンライン英会話を実施。 高2(P,Rコース)、高2,3では「コミュニケーション英語」等の授業でオンライン英会話を実施した
(3)ICT教育への対応と環境整備	・中学校全学年、高1全員がipadを所持 ・全教室電子黒板の設置が完了した ・初橋チャンネル（オンデマンド授業）の実施
5. 生徒募集強化による定員の確保	
(1)広報エリア・ツール等の充実	・大阪南部への広報強化 ・大阪府からの入試志願者数増
(2)募集イベントの充実	・河内長野/紀の川/橿原で延べ5回の出張説明会を実施 ・学校見学会では「スタサタ！」「探究学習日」の見学を実施
(3)コース変更や入試制度の改善	・中学校/高校コース名称変更

④はつしば学園小学校

重点目標	具体的な取組内容
1. 幅広い進路選択を可能にする確かな学力の養成	
(1) 学力推移データ等に基づく現状分析と課題の整理	・到達度テストの学年別現状分析・課題整理と継続検証
(2) 授業内容の改善・充実	・教科研究のもと新任研修を実施、教員の授業レベル向上を図った
(3) 進路指導体制の再編	・高学年で習熟度別授業を实践、その効果を検証
(4) 内部中学校と連携した学力検証の仕組みづくり	・プレテストの積極的受験や入試対策の充実
2. 社会の変化に柔軟に対応できる力の養成	
(1) グループ・ペア学習の深化	・新型コロナウイルスの感染拡大を受け、「グループ・ペア学習」を行うことが難しかった。担任団の工夫により聴き合う授業を行った
(2) 宿泊体験学習の充実	・修学旅行を含め、全学年規模を縮小し行き先を変更して実施した。
(3) プログラミング学習の实践	・タブレット端末を i Pad に機種変更し3・4年で導入した。新しいソフトを活用し創造的活動を实践することができた
3. 豊かな心の育成	
(1) あたり前のことをあたり前にする心の育成	・道徳の授業実践を積み重ね、教科研究を行い、評価のあり方を共有した。
(2) 児童支援体制の整備	・サポート会議を軸とした教員間の情報共有 ・いじめ対策の見直しと改善
4. 英語教育の充実	
(1) 英語教科化を踏まえた指導目標・学習内容の体系化	・「GrapeSEED」による年間 120 時間の授業を実施
(2) 授業の充実	・英語検定受験のための対策として新しい教材を採用し指導。 ・高学年でオックスフォードリーディングの教材を採用し「読む」活動を強化
(3) 上位層を伸ばす仕組み作り	・英語プレゼンテーション活動を実施。 ・授業の中で、達成目標に変化を持たせ活動の充実を図った
5. 安定した学校運営	
(1) 募集定員の確保	・和泉市への訪問活動を強化、新規に和泉府中駅にスクールバス乗降所を設けることを決定した。(2022 年度より開設) ・6 月までは新型コロナウイルスの感染拡大により実施できず。 ・6 月以降オープンスクール等は感染対策を講じつつ開催。個別の授業見学を多く受け入れ、入学希望者の対応を図った

⑤はつしば学園幼稚園

重点目標	具体的な取組内容
1. 保育の質の向上と教育内容の充実	
(1) 正課授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・満3歳児クラスの設置。47名が在籍 ・運動会を各学年分散開催で実施 ・「GrapeSEED」を全学年で展開 ・移動動物園等行事の充実
(2) 課外授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・バレエ教室を開講 ・卒園児を対象とした放課後課外教室を実施。(英語教育等)
(3) 預かり保育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇中の昼食を弁当/給食の選択制とした ・休園時も預かり保育を継続して実施
2. 園児募集	
(1) 広報の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・LINE/ホームページを活用し、イベント等を周知
(2) 募集関連行事の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染拡大防止策として、未就園児教室/園内見学は申し込み制とし、人数制限を設けて実施。開催日を増やす等対応
(3) はつしば学園小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・Grape SEEDの英語教育を中心に幼少連携を強化 ・小学校の先生による知育教室を開催
3. その他	
(1) 施設設備について	<ul style="list-style-type: none"> ・新集会室「にじいろホール」竣工 ・既設園舎の改修

⑥初芝スイミングスクール

重点目標	具体的な取組内容
1. 会員育成	<ul style="list-style-type: none"> ・日本選手権東京オリンピック選考会(4月) 100mバタフライ 第6位 ・全国中学校水泳競技大会 200m個人バタフライ 第4位 400m個人メドレー 第5位 ・全国ジュニアオリンピック水泳競技大会 200m個人メドレー 優勝(大会新記録) 200m自由形 第4位 200mメドレーリレー 第3位
2. 会員獲得	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス拡大より2020年11月には会員数849名まで落ち込み。2022年3月には954名まで回復。 ・年3回(6月・10月・2月)の1ヶ月体験教室、年2回(7月・3月)の短期教室を実施
3. 学園内各校園との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・はつしば学園幼稚園との連携 体育授業の一環で水泳授業を実施 預かり保育/延長保育でスイミングスクールの授業を受講。 ・はつしば学園小学校との連携 小学校の体育授業の一環として水泳授業を実施 ・初芝立命館高等学校との連携 高等学校体育科の授業に施設貸与 高等学校水泳部への施設貸与 高等学校水泳部への勧誘活動 ・初芝富田林中学校の授業に施設貸与

3. 施設等の状況

2022年3月31日現在

主な施設設備の状況は次のとおりである。

面積：㎡ 金額：千円

所在地	施設等	面積等	取得価額	帳簿価額	摘要
堺市東区日置荘西町 (はつしば学園幼稚園)	園地	4,301	141,151	141,151	
	園舎	2,406	584,931	334,818	
同上 (初芝スイミングスクール)	土地	1,518	28,868	28,868	
	建物	1,304	322,111	101,583	
堺市東区西野 (北野田キャンパス)	校地	48,523	2,916,279	2,916,279	はつしば学園小学校 初芝立命館中等学校. 本部分含む
	校舎	29,463	4,030,259	2,147,612	
富田林市彼方 (初芝富田林中高)	校地	58,314	1,335,086	1,335,086	
		8,463	—	—	
	校舎	11,845	3,077,000	1,308,147	
橋本市小峰台 (初芝橋本中高)	校地	39,053	1,258,000	1,258,000	寮敷地 (714㎡) 含む
	校舎	12,006	2,931,031	1,106,889	
	寮建物	2,093	544,374	233,533	
三重県南伊勢町	土地	92,929	1,711	1,711	未利用

※校舎には、建物附属設備及び構築物を含む。

4. 財務の概要

(1) 計算書類

資金収支計算

2021年4月1日から

2022年3月31日まで

単位：円

	a. 2021年度 第2回補正予算	b. 2021年度 決算	差 異 (a-b)
資金収入	6,721,121,787	7,174,413,219	△453,291,432
前年度繰越支払資金	2,051,965,592	2,051,965,592	
収入の部合計	8,773,087,379	9,226,378,811	
資金支出	6,989,868,156	7,084,484,766	△94,616,610
翌年度繰越支払資金	1,783,219,223	2,141,894,045	△358,674,822
支出の部合計	8,773,087,379	9,226,378,811	△453,291,822

事業活動収支計算

2021年4月1日から

2022年3月31日まで

単位：円

		a. 2021年度 第2回補正予算額	b. 2021年度 決算	差 異 (a-b)
教育活動収支	事業活動収入の部	4,026,402,199	4,102,535,988	△76,133,789
	事業活動支出の部	3,957,793,368	3,850,728,141	107,065,227
	収支差額	68,608,831	251,807,847	△183,199,016
教育活動外収支	事業活動収入の部	2,248,825	1,919,101	329,723
	事業活動支出の部	110,000	103,918	6,082
	収支差額	2,138,825	1,815,184	323,641
経常収支差額		70,747,656	253,623,031	△182,875,375
特別収支	事業活動収入の部	13,286,977	60,935,865	△47,648,888
	事業活動支出の部	0	200	△200
	収支差額	13,286,977	60,935,665	△47,648,688
[予備費]		46,230,000		46,230,000
基本金組入前当年度収支差額		37,804,633	314,558,696	△276,754,063
基本金組入額合計		△5,262,494	△31,040,130	25,777,636
当年度収支差額		32,542,139	314,558,696	△250,976,427
前年度繰越収支差額		△4,662,300,710	△4,662,300,710	0
翌年度繰越収支差額		△4,629,758,571	△4,378,782,144	△250,976,427

貸借対照表

2022年3月31日

単位：円

	a. 本年度末	b. 前年度末	増 減 (a-b)
資産の部			
固定資産	13,556,614,850	13,211,930,996	344,638,854
流動資産	2,543,219,954	2,459,939,276	83,280,678
合 計	16,099,834,804	15,671,870,272	427,964,532
負債の部			
固定負債	614,259,117	534,216,497	80,042,620
流動負債	814,856,048	781,492,832	33,363,216
合 計	1,429,155,165	1,315,709,329	113,405,836
純資産の部			
基本金	19,049,501,783	19,018,461,653	31,040,130
繰越収支差額	△4,378,782,144	△4,662,300,710	283,518,566
合 計	14,670,719,639	14,356,160,943	314,588,696
負債及び純資産の部			
合 計	16,099,834,804	15,671,870,272	427,964,532

(2) 主な財務比率比較

単位：%

比率名	算式	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
事業活動収支 差額比率 (△)	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	10.5	8.1	5.7	5.8	7.6
基本金組入後 収支比率 (▼)	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組額}}$	93.7	99.9	101.9	106.9	93.1
学生生徒等 納付金比率 (～)	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{経常収入}}$	50.9	51.2	50.4	53.9	53.5
人件費比率 (▼)	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	62.3	62.5	61.4	60.2	60.7
教育研究経費 比率 (△)	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	14.5	16.0	18.2	18.9	18.4
管理経費比率 (▼)	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	12.9	13.8	15.3	15.6	14.8
流動比率 (△)	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	198.0	242.6	256.2	314.8	312.1
負債比率 (▼)	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	13.1	11.3	10.5	9.2	9.7
純資産構成 比率 (△)	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債}+\text{純資産}}$	88.5	89.9	90.5	91.6	91.1
基本金比率 (△)	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	97.6	98.4	99.2	103.8	103.2

■ 比率名の（ ）内の記号は、評価を表している（「今日の私学財政」（日本私立学校振興・共済事業団）による）

(△)：高い値が良い (▼)：低い値が良い (～)：どちらともいえない

(3) その他

①有価証券の状況

区分	銘柄	数量	B/S 価額	時価	計上科目
株式	王子ホールディングス他	89,510株	59,892,124円	97,867,854円	有価証券
合計		89,510株	59,892,124円	97,867,854円	

②学校債の状況

発行年度	本年度末残高	利息	償還期限	摘要
2020年度	52,200,000円	－%	2023年3月	
2021年度	56,600,000円	－%	2024年3月	
2022年度	52,000,000円	－%	2025年3月	
合計	160,800,000円			

③寄付金の状況

寄付金の種類	寄附者	金額	摘要
特別寄付金	各校保護者会等	49,504,919円	
現物寄付金	各校保護者会等	47,240,241円	

④主な補助金の状況

補助金の内訳	金額	摘要
国庫補助金	15,385,000	ICT教育設備整備事業補助金他
大阪府経常費補助金	1,135,820,000	
大阪府授業料支援補助金	331,758,836	
大阪府修学支援実証補助金	2,700,000	
和歌山県経常費補助金	167,576,000	
和歌山県就学支援実証補助金	200,000	
大阪府その他の補助金	15,137,902	幼稚園特別支援事業費補助金等
和歌山県その他の補助金	1,390,000	ハイスクール強化指定事業補助金
市町村他補助金	577,348	堺市、橋本市

⑤収益事業の状況

スイミングスクール（サービス業）の状況は次のとおりである。

損益計算書

単位：千円

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
売上高等	100,897	103,352	95,414	47,839	89,466
売上原価	2,339	2,212	2,413	1,473	1,883
販売管理費等	90,474	88,247	88,211	81,791	92,112
当期純損益	8,084	12,892	4,789	△35,426	△4,529

※ 千円未満の端数処理の関係で内訳の計が合計と一致しないことがある。

貸借対照表

単位：千円

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
流動資産	179,942	194,592	119,555	149,078	220,768
固定資産	24,297	24,205	21,622	19,721	16,844
資産合計	204,239	218,797	141,178	168,800	237,612
流動負債	11,312	9,903	9,505	8,533	11,341
固定負債	9,559	9,745	9,909	7,576	7,514
負債合計	20,871	19,648	19,415	16,110	18,855
純資産合計	183,367	199,148	121,762	152,689	218,757
負債・純資産合計	204,239	218,797	141,178	168,800	237,612

※ 千円未満の端数処理の関係で内訳の計が合計と一致しないことがある。